

Sex Differences in Sexual Fantasy : An Evolutionary Psychological Approach

Sex Differences in Sexual Fantasies:A Review of the Literature

P194

Para1

男女の性的空想の頻度や内容を直接的に比較する経験（実験）主義的研究

→ 明確な性差を描き出した（男性は女性よりも二倍の頻度で性的空想を行う）

* 日本, アメリカ, イギリスの研究において証明されている。

Para2

女性の性的空想

- ・異性との出会いに関する背景や感情を含むもの、親しい相手を得るもの。
 - 物理的（肉体的）というより感情的に性的空想を行っている
- ・愛情や約束を含むもの、愛情や感情をテーマとしているもの。
- ・その内容は、細部を強調するものではない。（男性の性的空想は細部を強調する）
- ・空想上の相手の性的行動の対象として自らを想像する。（男性は自らの行動の対象として相手を想像する）
 - 男性：他者を自らの性的欲望の対象として見ている
 - 女性：自らを性的欲望の対象として見ている

P195

Para1

男性の性的空想

- ・視覚的内容を重視する。
- ・空想の中での相手：匿名の相手、複数の相手
- 男女間の性的空想の刺激源の差
 - 男性は女性の二倍の頻度でその刺激源と遭遇する

Para2

男女間の性的空想の内容や頻度：多くのデータが蓄積

→ 男女間の差となる心理的プロセスは検討されていない

Barclay・Hassの研究：質的な研究であり、心理現象に対する定量的データが不足

Para3

本研究における試み → 心理的プロセスの範囲における性差の検討
性的空想と関連する積極的・消極的影響の情報の収集

○人間の心理に対する考え方

適応主義者の考え：段階的な解釈の骨組みを提供（人間の脳や精神のメカニズムは完全に自然淘汰の産物と認識）

→ 多くの視点が不足、理論的形成が不十分

本研究：ある性的空想が適応を表わすということを明確にするものではない

→ 性的心理における性差を解明（ダーウィンのような検証を行うわけではない）

* “淘汰的思考”が心理学的仮説に普遍性を導き出し、検証されることが重要

高度に形成された仮説 → 一つの連続体における信頼性に対して修正を加えることができる

（一つの連続体の中で一方にかたくなな“予測”が存在しているとすると、それを連続体にそって

動

かしてみると、その予測は“希望”や“興味深い疑問”，“直感”というものになってしまう。）

P196

Para1

人間の脳や精神に影響を及ぼす心理的メカニズム

→ 更新世という環境において、自然淘汰によってデザインされたもの

= そのような環境下で生じた現象として叙述する必要性

Ex.恋愛小説などは、適応の結果によるものとは考えにくい。

* 発達心理学的仮説を評価するために用いるデータ

→ 潜在的に限界性が無く、更新世における情報と同じくらいの情報を有している

Para2

上記のような推論 → 本研究におけるデータの有効性を証明

抽象的サンプル：人間の心理的適応に明確な理解を与える

Ex.ファーストフードの研究：更新世期の人類の食糧についてよりも、食欲に対する人間の機

械化に関連がある。砂糖や塩や脂肪に対する人間の適応に明確な理解を得る。

本論における分析対象：カリフォルニア大学の学生

→ 性的感受性が高く、現代的な避妊用具を頻繁に用い、性的パートナーを自由に

選

ぶことができる（男女間の心理が明確で、性差が最も顕著に出る）

Hypothesized Sex Differences

P196

すべての心理学的理論 → 人間の性質を包含する

脳や精神：種としてのホモ・サピエンスのメカニズムの典型を構成している

- ・種特有の脳や精神のメカニズムの認識 → 普遍化された少数のものとして
特殊化された大多数のものとして

ダーウィニストは機能に着目するので、典型的に後者を好む。

ダーウィニストの人間の脳や精神のメカニズムへの予測

- 性的に同種二形のものである

哺乳類の再生産の特質：祖先の男性と女性はまったく異なる再生産の機会や抑制にさらされ

て

いたことを保証している。

- それゆえに淘汰は何らかの問題を解決するために男性と女性というものをデザインした。

P197

Para1

淘汰的思考 → 性的同種二形の心理的メカニズムについての仮説を提示するためには有用なガイドでありうる

以下に続く仮説：男性と女性の性的心理における予測された違いについての淘汰主義者の議論と、違いから生

じ

る性的空想についての仮説

Para2

両親の子供に対する投資 → 男性と女性では異なっている

男性：出来るだけリスクの低い、多産な女性との性的関係から利益を得る

- 淘汰は性的興奮の閾値が低い男性、新たな女性を求める男性に有利に働く

女性：新しい男性とのランダムな性的関係は得るものが少なく、失うものが多い

- 淘汰は単純性や多様性をもった男性に引きつけられる女性に有利にはたらかない傾向

- *このことは女性が一人の男性以上の相手との性的関係から利益を得ないということを示しているわけではない。

次に続く仮説：男女間の違いに由来するもの

Para3

パートナーの多様性：女性よりも男性において重視される観点

男性の性的空想 → 様々なパートナーを次から次に想像する

*男性は女性よりも、単純に性的関係だけを持つ傾向にある（他の方法で深い関係になろうとは考えていない）

Para4

女性の生殖的成功 → パートナーの質（遺伝的、経済的）に大きく依存している

男性の **mate value**：良好な遺伝子、肉体的・精神的特徴、選んだ女性に対する真摯な関心

- 淘汰は性的覚醒に対して鈍い女性に有利に働く

性的魅力や願望に関する女性の経験 → 男性の質や男女間の関係の質についての情報を具体化する

Para5

霊長類は排卵したことを明確に示すが、人間はそうしない

- 淘汰は女性の **mate value** とは異なる指標によって性的に覚醒する男性に有利に働く

人類：基本的には視覚的動物

- 男性：視覚的特徴によって性的に覚醒するように選択（淘汰）されている

- *男性の **mate value**：心理的特徴に関してより複雑で依存的

- 固定観念的な視覚によって感化されていない

P198

Para1

女性の **mate value**：男性の **mate value** よりも視覚的特徴に対して相互関係的なもの

- 淘汰は女性においてよりも男性に有利に働く

男性は女性の外見や思考によって簡単に性的に覚醒するように選択されている

- 男性は性的パートナーの外面的なものに反応するように淘汰されている

女性は男性の性的欲求の対象としての役割を想像するように淘汰されている

- 女性は男性の性的欲求の対象となるために

女性：男性の内面的な質についての指標を基準にして男性の魅力の評価し、好みの男性によって触覚的な刺激に対して性的覚醒を経験するように淘汰されている。

次の仮説：これらの男女間の相違性が由来する背景について

Para2

男性の空想 → 視覚的イメージ（外面的・単純・急激・詳細な肉体的イメージ）

女性の空想 → 触覚的・感情的イメージ(内面的・複雑・ゆっくり・簡単な肉体的イメージ)

*本論文において、男性と女性の空想における物理的(肉体的)背景の重要性について異なる予測を設定。

Methods

P198 Para 3

分析対象：カリフォルニア州立大学とカリフォルニア短期大学の学生

○17～21才 男性：56人 女性：111人

22～29才 男性：60人 女性：59人

30才以上 男性：12人 女性：9人

○コーカソイド 74.2%

アジア人 13.1%

ヒスパニック 5.9%

黒人 3.9%

その他 2.9%

○88.9%は未婚者

Para4

アンケートの方式：multiple-choice question

P199

Para1・Para2

調査を行った421人の学生の内、307人から有効回答を得た。

Results

P199

Para3

〔検定方法〕：t検定，One-tailed 検定

〔質問とその結果〕

質問1・2 (0：なし，1：一週間に一度，2：一日に一度かそれ以下，3：おおよそ一日に一回，4：一日に2

～
3回，5：一日に4～7回，6：一日に7～10回，7：一日に10回以上)

質問1：おおよそどれくらいの頻度で性的空想を行いますか？

女性平均：1.97 男性平均：3.22

質問2：おおよそどれくらいの頻度で性的覚醒が生じますか？

女性平均：2.17 男性平均：3.27

質問3 (0：ない，1：一つ，2：二つ，3：三つか四つ，4：五つか六つ，5：七つか八つ，6：八つ以上)

：平均してあなたはどれくらいの想像のパターンを性的空想で行いますか？

女性平均：1.08 男性平均：1.96

Para4

質問4～6 (0：かなり重要，1：ある程度重要，2：まったく重要でない)

質問4：あなたの性的空想の中で物理的背景はどれくらい重要ですか？

女性平均：0.91 男性平均：1.08

質問5：あなたの空想のなかで非性的行為はどれくらい重要ですか？

女性平均：0.49 男性平均：1.04

質問6：あなたの性的空想の中で感情的背景はどれくらい重要ですか？

女性平均：0.61 男性平均：0.96

Para5

質問7～10 (0：常に，1：いつも，2：ときどき，3：めったにない，4：まったくない)

質問7：あなたの性的空想の中で，あなたの空想上のパートナーの性的特徴に関してどれくらいのクリアなイメージ

を持っていますか？

女性平均：2.29 男性平均：1.29

質問8：あなたの性的空想の中で，あなたの空想上のパートナーの外見的特徴に関してクリアなイメージを持っ

ていますか？

女性平均：1.09 男性平均：0.95

質問9：あなたの空想上のパートナーに対して，非肉体的特徴についてどれくらい詳細にイメージしますか？

女性平均：2.14 男性平均：2.51

質問10：あなたの性的空想の重要部分は，積み重ねたものであったり，誘惑であったり，相互作用であったりする

ものですか？

女性平均：0.85 男性平均：1.15

質問11・12 (0：常に，1：しばしば，2：ときどき，3：ときどきもしくはめったにない)

質問11：一つの性的空想の中で，あなたはどれくらいの頻度で相手を変えますか？

女性平均：3.08 男性平均：2.30

質問12：何人かの人々は，性的関係を持つことがタブーとされる人々に対して，性的願望を持ちます。例えば，舅・

友人の恋人・不倫などです。これらの願望は現実的なもので、望むと望まないと関わらず生じるもので
す。あなたはどれくらいの頻度でこれらの種類の願望を経験しますか？

女性平均：2.75 男性平均：2.60

P200

Para 3

性的多様性に対する願望

性的空想・覚醒の頻度、空想のパターン：女性よりも男性の方が多い

*タブーとされる関係についての願望

→ 男女差は存在しない

P202

Para1

視覚的イメージの重要性 → 男性において重要であることが証明

触覚的・感情的イメージの重要性 → 女性において重要

Para2

空想上のパートナーに対する性的願望の焦点

(男性) 外面的特徴を重視

(女性) 内面的特徴を重視

Para3

女性の性的空想 → 人格的なものを重視

女性の性的空想のパートナー：精神的・感情的に覚醒させてくれる

男性の場合 → 性的覚醒が得られなければ、パートナーを変える

*男性、女性の両方においてイメージについては詳細な内容でイメージを行っていた。

Para4

女性の性的空想 → 感情的な背景が重要

*性的行動にいたるまでのプロセスが重要であることを示した。

Para5

物理的な背景の重要性 → 明確な性差は見られなかった

P203

Para1

性的空想・覚醒にともなう感情や態度の変化 → 明確な性差は見られなかった

*その回答傾向は似ていた。(特にタブーとされる関係への願望に関して)

Discussion

P203

Para2

男性の性的空想：頻度が多く、性的行動に移るのが早い、視覚的イメージを重視、パートナーを性的対象として認識、

パートナーは多様

女性の性的空想：関係性を重視、人格的なものを重視、ゆっくりと進展、パートナーの性的願望の対象として自らを

位置づける

Para3

研究における不足点 → 性的空想における表面的なイメージの明瞭性について

*外見的特徴に関しては明確な差が見られなかった。

Male and Female Literatures of Erotic Fantasy

P203

Para4

性的空想と文学（雑誌）との関係性

男性向けのポルノ誌と女性向けの恋愛小説の分析 → 男女間の性的空想の傾向と関連性が存在

男性向けのポルノ誌：視覚的イメージを重視、物理的欲望を簡単に得られるように書かれている

P204

Para1

恋愛小説 → 性的行動の前段階を重視、女性の現実を反映

Para2

恋愛 → mate selection

一人の女性の残りの人生を支えてくれるであろう正しい男性を見分け結婚するための女性の願望を強化

恋愛小説：出会い、そこから生じる関係を詳細に説明

Para3

恋愛小説

・ヒロインは自らの清純さを保たないものの、一夫一妻制という考え方は尊重する

・ヒーローはヒロインの中に彼の情熱を満たしてくれるものを見出し、それは将来のかれの貞節を保証するもの

- ・性的行為のシーン = 女性の支配を表す

Mulhern の分析

恋愛の基本的概念：愛至上主義

- ・女性の感情的依存を示すものではない。
- ・女性 → 男性の感情や気遣いの対象として位置づけられる

Para4

恋愛小説の存在理由：読むことで性的満足が得られる

Coles・Shamp の分析：恋愛小説の読者と読者でない人の間の非個別的・統計的分析

→ 読者はそうでない人より、頻繁に性的行為にかかわり、性的関係の経験を空想に用いる

恋愛小説

- ・読者に対して性的刺激を与える
 - 男性のポルノ誌に対する Counterfantasy である
- ・ポルノ誌において女性に変換された形で描かれているのと同様に、女性の標準に合わせて男性像は変換

されている。

Causes of Sex Differences

P205

Para1

社会学者の性的空想における性差への認識 → 人生（生活）経験における性差の影響

（筆者の考え）：この見解を否定する立場ではない

→ 進化論的概念（淘汰が人間の性的感情や行動に基づく同種二形の脳・精神メカニズムを生み出す）

に

疑問を呈す

Para2

進化の歴史における、男性と女性の間の再生産の機械と抑制 → かなり異なる

- ・女性の子孫に対する投資：莫大なもの
 - パートナーの注意深い選択が重要となる（ランダムな選択は自らと自らの子孫に不利益を与える）

Para3

男性の子孫に対する投資：ほぼゼロに近い

男性にとっての成功 → 多産な女性を得ることができた人

Para4

本論で示されたデータ → 男性と女性の異なる性的心理

性的空想 = 気まぐれで恣意的なものではない

Para5

数人の社会学者の指摘：性的空想は自己の性的罪悪感という現象に起因するもの

→ しかし、女性は男性と同じくらい性的空想を楽しんでいる（双方とも性的空想をポジティブに捉えている）

Ex.男性も女性もタブーとされる関係を望み、それらをコントロールできない。

P206

Para1

性的空想と神経解剖学的データとの関連性：性的空想の頻度とアンドロゲンの関係が示されている

Udry の分析：思春期における性的空想頻度の増加はアンドロゲンの増加に伴う

女性よりも男性の方が強く働く

*テストロン：男性は思春期を過ぎると 10 もしくは 20 の要因によって増加

Para2

男性と女性の心理は本質的には同一で、性別間の違いは社会的影響から生じるもの

Ex.自由主義的な女性は、性的行動について男性と同じくらい活動的な例

社会において広く認められた理想的な男性像の共有

→ （筆者の考え）社会的影響は性的表現における性差を増幅させているというより、和らげている

Summary of Sex Differences

P206

Para 4

これまでの議論・視点（性的空想に関するデータ・消費者としての行動・セクシャリティについての民族誌的記録・

進化論的概念の応用） → ひとまとめに議論されてきた

P207

Para1

男女ともに欲望と閾値が存在

男性：欲望が自律的、性的願望に対する閾値は自律的でない

女性：欲望は自律的ではない、性的欲望に対する閾値は自律的

→ 男性は恋愛小説を読まない、女性はポルノ誌を読まない

→ 男性向けの恋愛小説の市場は存在しない、女性向けのポルノ誌の市場は存在しない

→ 男性の空想の目標：欲望の充足 女性の空想：閾値の支配下にある

Para2

閾値の目標：伴侶選択

女性の空想における“閾値の対象”→人格化

*女性是非物理的特徴を重視

男性の空想における目標：欲望の充足（人格というより対象そのもの）

*男性は物理的特徴を重視

Para3

男性：視覚的刺激により性的覚醒

女性：触覚的刺激により性的覚醒

Para4

女性：自らを男性の情熱、気遣いの対象

男性：女性を欲望の対象として認識

Para5

男性の多様なパートナーへの志向性

*男性、女性ともに新しい関係の最初の段階において最大限の性的覚醒を得る。

Limitations and Implications

P207

性的空想：日常生活から制限を受けない

性的空想の研究 → 性的行動の研究よりも、男女間の性的本質を明確に提示

本研究の目標：性的空想の分析を通じてヒトのセクシャリティに基づく性的同種二形の脳・精神メカニズムを特

徴化すること

本研究の問題点：データの対象が若者だけ

質問の作成者が男性だけ

P208

Para1

男女差の無い言語を用いることで、同種二形の間心理の抽出 → 不可能に近い

しかし、回答に性差を最大化する質問に変えることは重要

*性差を引き出さなかった質問とそうでない質問、小さな性差を引き出した質問と大きな性差を引き出した質問

を比較することで、男性と女性の性的本質についての概念を拡大し、洗練化される。

Para2

女性の性的空想についての考察についてのさらなる調査の必要性

→ 性的なイメージが含まれていない可能性（イメージの中で求めるものが、それを表現するときに性的なもの

に変化する可能性）

Unobtrusive Measures of Human Sexuality

P209

Para1

多くの種類のデータ → 男性と女性の性的心理を解明

様々な調査方法：長所と短所を持つ（Webb の指摘）

短所を和らげる方法 → Unobtrusive measure

Para2

Unobtrusive measure の実践 → 多くの成果を生み出す

- ・男性の性的所有物の解明に殺人事件を用いる
- ・結婚費用の多様性と mate value との関係
- ・不動産価格の多様性と人間の景観の好みとの関係

後者の二つ：自由市場が人間心理についての情報の宝庫であることを証明

Para3

男性向けのポルノ誌、女性向けの恋愛小説 → 消費者の好みによって作られる

その市場の調査の長所：その市場の特徴＝男性と女性の Unobtrusive measure として用いられる

その市場の調査の短所：他の要因が関与する（消費者の好み・製作者の技術・・・）

*性的心理の特徴を見出すのは、実験的調査が有効。

P210

Para1

WHR の研究：女性のウエストとヒップの割合の研究

WHR＝女性の様々な情報がふくまれる（健康、年齢、ホルモン状態・・・）

→ mate value

Para2

Sigh の分析 : Playboy の見開きとミスアメリカの分析

→ 女性の魅力 : 細いウエストと大きいヒップ = WHR が女性の魅力であることを証明
*他の属性は年によって異なる

(問題点)

- ・心理的メカニズムの解明にいたっていない
- ・平均的な範囲での関係性が分析されていない

Para3

Sigh は実験データを補足的に用いる → 平均的な範囲でも証明された

Para4

Unobtrusive measure → 性的心理を明らかにする

前の研究での失敗 : 性的空想の中で男性よりも女性の方が、相手の顔を明確にイメージするという仮説
→ 実際、男性も女性の顔を明確にイメージする

*予測の背後 : 適応主義的論理 (男性の性的交際においては相手の顔はあまり重要でないこと)

Para5

Unobtrusive measure の他の方法 : 商業的に成功したものとそうでないものとの比較

P211

Para1

Unobtrusive measure の他のアプローチ : 性愛を取り扱った文学のジャンルにおける必要不可欠な要素の解明

Para2

Unobtrusive measure の最終的使用方法 : より細かい、より難解なジャンルの分析

= 本流となるものとそうでないものとの比較

→ 男性と女性の性愛を取り扱った文学の好みにおける内面的な性の多様性の原因を分析

Para3

Salmon・Symons の分析 : Slash fiction の分析

Slash fiction : 同性愛者の恋愛や性的行為を描いたもの

- ・本流 (本編) におけるヒーローとヒロインの関係より平等的な関係を描く
→ 性別間の対立を描いたものではない

= (仮説) ヒロインのヒーローへの従順 : 本流 (本編) の恋愛の中では重要な要素ではない

Para4

Slash fiction についての学問的研究

→ Slash fiction と本流 (本編) の恋愛との共通性を過少評価

Slash fiction と本流 (本編) の恋愛における必要不可欠な要素 : かなり似ている

- ・両方の読者の心理的セクシャリティはあまり変わらない (Salmon・Symons の分析)
- ・本流 (本編) の恋愛の読者は高い確率で Slash fiction を読んでいる (Hamilton による調査)

Salmon・Symons の分析

→ Slash fiction (男性/男性の恋愛) とそれに対する女性の反応の分析を通じて、女性の性愛を取り扱った文学の必要不可欠な要素の解明